

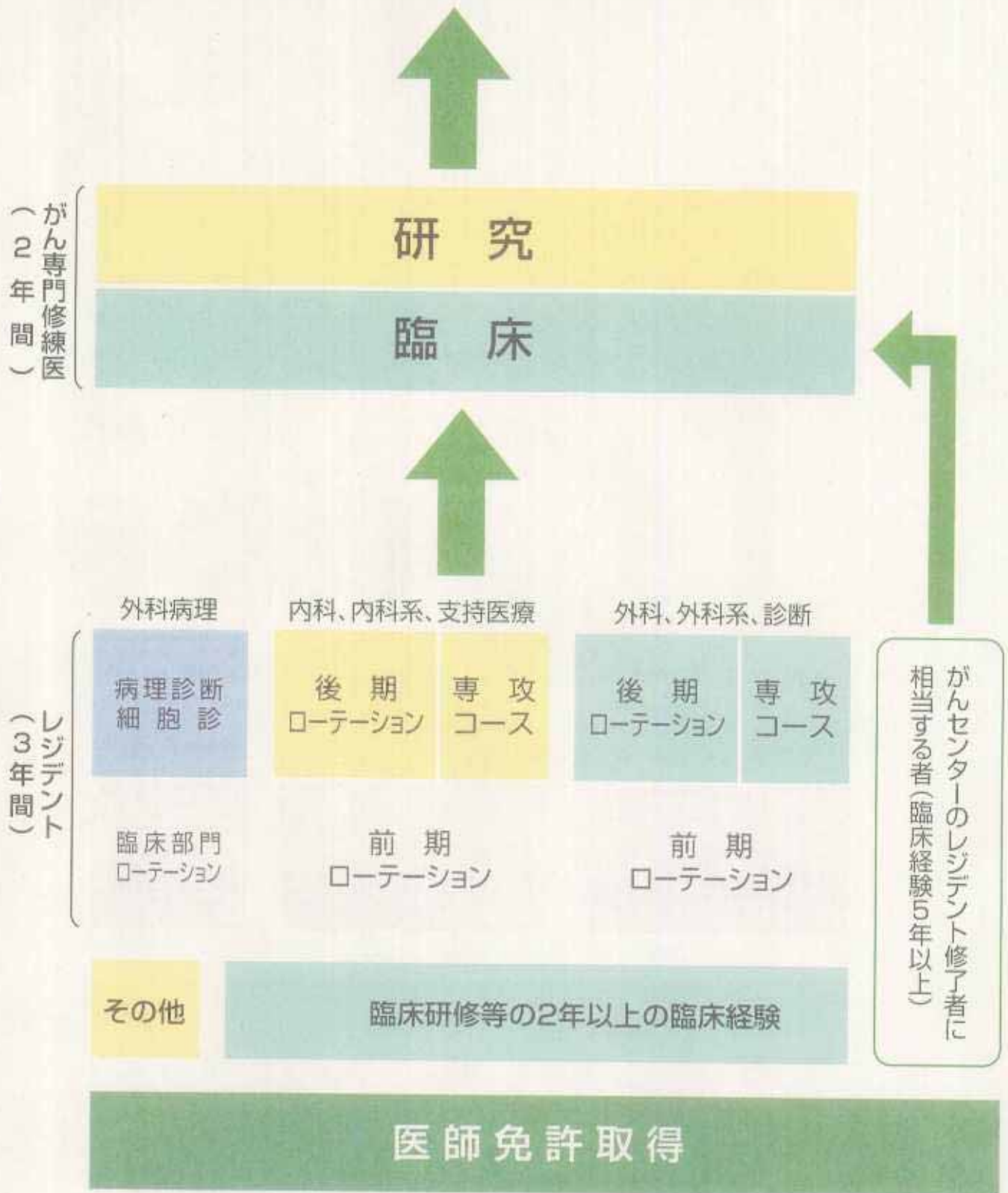
がん専門医の育成について

(国立がんセンターにおける育成)

国立がんセンター中央病院
病院長 野村 和弘

全国のがん医療の最前線へ

・国立がんセンター ・がん専門医療機関 ・大学附属病院 ・研究機関 など



部 門	コース(分野)	第1年次	第2年次	第3年次
内 科	呼 吸 器 消 化 管 肝 胆 脾 乳 腺・腫 瘍 血 液・造 血 幹 細 胞 移 植 治 療 開 発	前期ローテーション (呼吸器、消化管、肝胆脾、 乳腺・腫瘍、血液・造血 幹細胞移植、CCM*)		後期ローテーション (内科部門の1コース以上 および関連部門)
内 科 系	小 児 科 放 射 線 治 療	ローテーション (関連部門、CCM* および内科各科)	専攻コースあるいはローテーション	専攻コース
支持医療	精 神 科 緩 和 医 療	専攻コース (関連部門) 内科部門のローテーションに加わる		専攻コース
外 科	呼 吸 器 食 道 胃 大 腸 肝 胆 脾 乳 腺	前期ローテーション (関連部門、CCM*)		後期ローテーション (外科・外科系各科)
外 科 系	脳 神 経 外 科 婦 人 科 泌 尿 器 科 頭 頸 科	専攻コース	ローテーションあるいは 専攻コース、CCM*	専攻コース
	整 形 外 科 皮 膚 科 麻 酔 科 眼 科	ローテーション (関連部門、CCM*)		専攻コース
診 断	胸 部 画 像 診 断 腹 部 画 像 診 断	ローテーション (関連部門、CCM*)		専攻コース
	消 化 器 内 視 鏡	専攻コース		専攻コース
外科病理	病 理・細 胞 診 断	原則として1年目の一定期間は関連臨床部門をローテーション、それ以降は、病理・細胞診断		

*CCM:Critical Care Medicine (「部門・コースの選択とローテーションの内容」を参照)

内科部門は専攻コースを指定せず、前期ローテーション終了時に後期ローテーションの専攻コースを決定する。

外科部門を志望する場合は専攻希望コースを2コース指定する。

内科系・外科系・診断の各部門を志望する場合は専攻希望コースを1コース指定する。

気管支鏡による診断治療は胸部画像診断コースに含まれる。

治療開発コースでは、各種がんに対する新たな抗癌剤治療を薬剤動態や分子医学的手法で裏付けながら開発する。

ローテーションの詳細については「部門・コースの選択とローテーションの内容」を参照すること。

ローテーション先として選択できる関連部門については、次ページの「選択可能なローテーション先」を参照すること。

ローテーションの内容並びに研修期間については新臨床研修制度発足等より変更する場合がある。

選択可能なローテーション先

診 断	消 化 管	消化管を対象とした放射線診断 (透視、CTなど)
	腹 部 実 質 臓 器	肝胆膵、泌尿器、婦人科などを対象とした放射線診断 (CT、MRI、血管造影など)
	呼 吸 器	呼吸器を対象とした放射線診断、気管支鏡
	超 音 波	腹部、乳腺など
	消化器内視鏡	上部、下部など
外科病理	消 化 管	} 各臓器手術材料の肉眼観察、切り出し、病理診断
	肝 胆 膵	
	肺	
	乳 腺	
	骨、軟部組織	
泌 尿 器	白血病、悪性リンパ腫の病理診断と鑑別	
婦 人 科	呼吸器、婦人科材料の細胞診断を主とする	
血 液		
そ の 他		
細 胞 診		
支持医療	精 神 科	がん患者に多く見られる精神科的問題についての対処方法と精神科コンサルテーションの適応の判断
	緩 和 医 療	がん患者の痛みを中心とする症状マネージメント(薬物療法、非薬物療法)、緩和医療全般
東 病 院	緩 和 ケ ア	交流研修が可能
	頭 頸 部 外 科	
	放 射 線 治 療 (粒子線治療)	

期間はそれぞれ1ヵ月以上とする。
部門ごとに推奨するローテーション先がある。



部 門	コース	第1学年前期 専 門 課 程 カリエンテーション	第1学年後期-第2学年(基礎科目および各科ローテーション*)		第3学年(専門課程)
			主 科 目	副 科 目	
内科系	呼吸器科	呼吸器内科	臨床病理、細胞診、放射線画像診断、内視鏡診断、がん化学療法、麻酔科、PCU**	外科学	呼吸器がんの診断・化学療法及び臨床研究
	消化器科A	消化器内科 (肝 胆 膵)	臨床病理、放射線画像診断、内視鏡診断、超音波診断、固形がん化学療法、麻酔科、PCU	分子腫瘍学 薬理・薬効試験	肝臓癌の診断及び interventional therapy 消化器がんの化学療法及び臨床研究
	消化器科B	消化器内科 (消 化 管)	臨床病理、放射線診断、超音波診断、固形がん化学療法、麻酔科、PCU	精神腫瘍学	消化器内視鏡診断、内視鏡治療 消化管がんの化学療法及び臨床研究
	化学療法科	固形がん及び血液腫瘍の化学療法	臨床病理、薬理・薬効試験、放射線診断、内視鏡診断、麻酔科、PCU	呼吸器科、 消化器科 精神腫瘍学	固形がん(乳がん、肺がん、頭頸部がん、 悪性リンパ腫)・造血器悪性腫瘍の化学 療法及び開発的治療研究
	緩和ケア・精神科	P C U	がん化学療法、麻酔科、放射線治療、精神腫瘍学	放射線診断、 超音波診断	緩和ケア、臨床精神腫瘍学(がん患者の 精神介入試験など)
放射線科	放射線診断	放射線診断	臨床病理、肺診断、内視鏡診断、 超音波診断、放射線治療	消化器外科、 整形外科 固形がん化学療法	放射線診断(胸部・腹部)及び臨床研究
	放射線治療	放射線治療	臨床病理、放射線診断、内視鏡 診断、がん化学療法、PCU	精神腫瘍学、 麻酔科、外科	粒子線治療を含む放射線治療及び臨床研究
外科系	呼吸器科	呼吸器外科	基礎科目：臨床病理、細胞診、肺診断、肺がん化学療法、 精神腫瘍学等 ※ローテーション：麻酔科、消化器外科AB、乳腺外科、頭頸部 外科等		呼吸器外科、食道外科及び臨床研究
	消化器科A	消化器外科 上部(肝胆膵胃)	基礎科目：臨床病理、精神腫瘍学、消化器画像診断、 内視鏡診断等 ※ローテーション：麻酔科、消化器外科B、肺外科、乳腺外科、 頭頸部外科等		肝胆膵胃腫瘍の外科及び臨床研究
	消化器科B	消化器外科 下部(消化管 骨盤臓器)	基礎科目：臨床病理、精神腫瘍学、消化器画像診断、 内視鏡診断等 ※ローテーション：麻酔科、消化器外科A、肺外科、乳腺外科、 頭頸部外科等		下部消化管骨盤内臓器の外科及び臨床研究
	頭頸部腫瘍外科	頭頸部外科	基礎科目：臨床病理、放射線診断、放射線治療、固形 がん化学療法、精神腫瘍学等 ※ローテーション：麻酔科、肺(食道)外科、消化器外科、乳腺 外科等		頭頸部腫瘍外科及び臨床研究
	乳腺外科	乳 腺 外 科	基礎科目：臨床病理、固形がん化学療法、放射線診断、 精神腫瘍学等 ※ローテーション：麻酔科、呼吸器外科、消化器外科AB、頭頸 部外科等		乳腺の外科及び臨床研究
	麻酔科	麻 酔 科	基礎科目：呼吸器内科、肺診断、PCU ※ローテーション：頭頸部外科、呼吸器外科、消化器外科AB、 乳腺外科		麻酔科、ペインクリニック、 呼吸生理等の臨床研究
外科病理	外 科 病 理	各臓器手術材料の肉眼観察・切り出し、病理診断、細胞診 (1年前期から2年まで通して)			臨床腫瘍病理学、分子病理学等のがん診断、 治療への応用研究

注) *ローテーション中の科目及び研修期間は自由選択。 **palliative care unit (緩和ケア)
必要に応じて国立がんセンター中央病院において研修の一部を行うことができる。

部 門	コ ー ス
内 科	呼 吸 器
	消 化 管
	肝 胆 脾
	乳 腺 ・ 内 分 泌
	血 液
	造 血 幹 細 胞 移 植
	治 療 開 発
内 科 系	小 児 科
	放 射 線 治 療
支 持 医 療	精 神 科
	緩 和 医 療
外 科	呼 吸 器
	食 道
	胃
	大 腸
	肝 胆 脾
	乳 腺
外 科 系	脳 神 経 外 科
	婦 人 科
	頭 頸 部 外 科
	泌 尿 器 科
	整 形 外 科
	皮 膚 科
	麻 酔 科
	眼 科
診 断	胸 部 画 像 診 断
	腹 部 画 像 診 断
	消 化 器 内 視 鏡
外 科 病 理	病 理 ・ 細 胞 診 断
予 防 ・ 検 診	検 査 ・ 画 像 診 断

・原則として第1学年を臨床、第2学年を研究にあてる。

・研究とは臨床研究を指すが、希望により研究所での基本的な研究を申請することもできる。

・診断部門については、がん予防・検診研究センターでの研修・研究も含む。

・ローテーションの内容並びに研修期間については新臨床研修制度発足等の事情により変更する場合がある。